

重点目標一覧表

担当部局名 健康こども未来部

【令和4年度重点目標】

重点目標	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための迅速・適切な対応
具体的な重点取組項目（箇条書き）	
	達成状況・達成度
① 新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく適切な対応 (1) 国、県（保健所）、医療機関等からの情報収集と連携 (2) 上田市対策本部の運営と全庁体制での各種施策の実施	① (1) 小上医療圏新型コロナウイルス感染症対策コア会議出席（18回） (2) ・感染警戒レベル改定等に基づく市対応方針の見直し ・全庁体制で集団接種会場でのワクチン接種実施（延べ143会場）
② 新型コロナワクチン接種の円滑な遂行 (1) 接種対象者が速やかに接種できる環境の整備 (2) 接種対象者が安心して接種できる体制の確保	② (1) 個別接種63機関 集団接種延べ143会場 (2) 地元医師会からの医療従事者派遣、全庁体制での職員動員、会計年度職員の積極的採用により集団接種会場での体制を確保
③ 接種に対する正しい情報の提供	③ (1) ホームページの更新（306回）
④ 感染予防のための正しい知識の周知 (1) 広報紙への定期的な掲載 (2) 市メール、SNS等でのタイムリーな情報発信 (3) 研修会の開催（上田薬剤師会へ委託） (4) 感染に関する差別、中傷等の防止	④ (1) 広報うえだへ掲載（12回） (2) 感染者数等メール配信（224回） (3) 自治会等に向け開催（13回） (4) メール配信に合わせて配信（224回）
⑤ 医療体制の確保と医療従事者への支援 (1) 医療機関への支援 ・発熱患者等診療体制確保協力金 ・ワクチン接種協力金 (2) 医療従事者への支援（医療従事者等宿泊費補助金、感染症指定医療機関等医療従事者慰労金）	⑤ (1) ・55医療機関へ支給 ・57医療機関へ支給 (2) 3機関 延べ563人へ支給
⑥ 上田地域検査センターの継続的な運営 上田市医師会及び上田保健福祉事務所と連携した運営	⑥ ・検査センター開設（90日、検体採取数887件、10月31日閉所）
⑦ 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」（仮称）の支給 (1) ひとり親世帯 (2) (1)以外の住民非課税の子育て世帯	⑦ (1) 1,712人（1,157世帯）に支給 (2) 1,493人（846世帯）に支給

【令和5年度重点目標】

重点目標	人生100年時代を見据えた若い世代からの健康づくりの推進
具体的な重点取組項目（箇条書き）	
	期限・数値目標等
① 各種施策推進のための新たな計画の策定 (1) 上田市市民健康づくり計画（第四次） (2) 上田市食育推進計画（第3次） (3) 上田市自殺対策計画（第2期）	① (1) 計画の策定 (2) 計画の策定 (3) 計画の策定
② 健康幸せづくりプロジェクト事業の推進 (1) 子どもの健康づくり支援 保育園運動プロジェクト「チャレンジキッズ」の実施 (2) 若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦無料歯科検診の実施 ウ 二十歳（はたち）歯科検診の実施 (3) 健康づくりチャレンジポイント制度の実施	② (1) 運動指導園児数：延べ3,000人 (2) ア（社保）受診者数：400人 ※（国保）受診者数：300人 イ 受診者数：500人 ウ 受診者数：150人 (3) 参加者数：9,500人 （新規参加者：500人） (4) 年間参加者数：1,000人 (5) 参加者数：延べ3,000人 (6) ダウンロード者数：新規1,000人 (7) 相談室：15回 (8) 参加者数：延べ140人
③ 健康づくり啓発事業 (1) セブン&アイ・ホールディングスとの包括連携協定に基づく官民連携イベントの実施	③ (1) 1回開催
④ 糖尿病等生活習慣病予防の推進 (1) プログラムに基づいた保健指導の実施 (2) 対象者に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等）	④ (1) 保健指導実施者数：400人 (2) 受診勧奨者数：1,000人
⑤ 検（健）診の受診率向上強化	⑤ 医療機関に受診勧奨協力依頼
⑥ こころの健康づくりの推進 (1) ゲートキーパー研修の実施 (2) こころの健康づくり講座実施	⑥ (1) 修了者 20人、継続者 20人 (2) 年度中2コース開催

重点目標 将来にわたる安全・安心な周産期医療体制の基盤づくり

具体的な重点取組項目（箇条書き）	
	達成状況・達成度
① 安全で安心な周産期医療提供体制の確保 (1) 信州上田医療センターとの医療機能の再編・集約化に向けた取組 (2) 医療機能の再編・集約化にかかる各種手続き (3) 公立病院経営強化プランの策定	① (1) 集約スケジュールの公表及び医療センター財政支援の予算化 (2) 病床削減による給付金要望実施 (3) 既存の新改革プラン改定実施
② 妊娠から出産、子育てへとつながる体制づくり (1) 関係機関と連携し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援 (2) 母子保健事業や子育て施策の充実	② (1) 産後ケア事業実績 ショートステイ：2件、デイケア：4件 (2) 母親学級等参加者：159人 母乳育児かファリス：252回
③ 信州上田医療センターとの連携強化 (1) 医療の安全を第一とし、ハイリスクの妊婦を早期に紹介 (2) 症例検討会を行い、役割分担を明確にして妊産婦の早期トリアージによる安全な医療の提供	③ (1) 情報共有及びリスク管理のための定例カンファレンス開催：19回 (2) 症例検討会 症例なし
④ 女性のライフサイクルに合った支援の充実 (1) 庁内関係課との連携による出前講座の充実 (2) 「命の学級」の内容及び対象者の拡充	④ (1) 小中学校以外への出前講座実績 保育園：1回、高校：1回、事業所：1回 (2) 中学生向け「命の学級」開催 実績：15回
⑤ 女性のヘルスケア診療の充実 (1) ホルモン製剤による治療などの幅広い年代の女性に対応したヘルスケア診療の充実 (2) 子宮がん検診や特定健診の積極的な実施	⑤ (1) L E P 療法実績：374例 (2) 子宮がん検診実績：799件 特定健診実績：16件

重点目標 子どもを産み、育てる喜びが実感できるまちづくりの推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	
	期限・数値目標等
① 上田市子ども・子育て支援事業計画の進行管理等 (1) 子ども・子育て会議の開催運営 (2) 計画の進行管理 (3) 第3次計画策定のためのニーズ調査の実施	① (1) 会議開催運営 (2) 子ども・子育て会議で検証・評価 (3) ニーズ調査の実施
② 子育てを支援する経済的支援の実施や情報発信 (1) 「上田市出産祝い」の実施 (2) 子育て応援サイト（うえだ家族）への情報提供 (3) 子育て応援情報の内容充実 (4) 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」（仮称）の支給	② (1) 「上田市出産祝い」の実施 (2) 「うえだ家族」情報更新実施 (3) 子育て応援ハンドブック更新 発行1回、メール配信月1回 (4) 該当者全員に支給
③ 地域における子育て支援の充実 (1) 子育てひろばの充実 子育てサポーターの活動支援と養成講座の開催 (2) 地域で活躍している子育て支援団体との連携	③ (1) 子育てサポーター活動 300回 (2) 年度を通して実施
④ 子育て世帯包括支援センターの機能充実 (1) 母子保健コーディネーターと子育て支援コーディネーターの連携強化 (2) 地域の関係機関との連携、協働の体制づくり (3) こども家庭センター設置の検討	④ (1) 連携会議 月1回 (2) 各所巡回 月1回 (3) こども家庭センター設置について協議等
⑤ 妊娠出産包括支援事業の充実 (1) 出産・子育て応援給付金事業による給付と妊婦・子育て世帯への伴走型相談支援の充実 (2) 共働き家庭にあわせた参加しやすい両親学級の実施 (3) 産後ケア事業等による産婦支援の充実	⑤ (1) 8か月妊婦へのアンケート、希望者への面談の実施 (2) 2割の妊婦の参加 (3) 必要な産婦の利用 50人

重点目標 「一人ひとりが健康で幸福なまち健康都市の実現」に向けた各種健康施策の展開

具体的な重点取組項目（箇条書き）	
	達成状況・達成度
① 「健康幸せづくりプロジェクト事業」の推進 (1) 子どもの健康づくり支援 保育園運動プロジェクト「チャレンジキッズ」の実施 (2) 若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦無料歯科検診の実施 ウ 二十歳（はたち）歯科検診の実施 (3) 健康づくりチャレンジポイント制度の実施 (4) 健幸ウォーキング事業の実施 (5) あたま・からだ元気体操の実施 (6) 健康づくり応援アプリ「うえいく」の安定した運営 (7) まちかど健康相談室 (8) 「うえいく+（プラス）」事業の実施	① (1) 運動指導園児数：延べ3,087人 (2) ア（社保）受診者数：333人 ※（国保）受診者数：203人 イ 受診者数：509人 ウ 受診者数：106人 (3) 参加者数：9,094人 (4) 参加者数：702人 (5) 参加者数：延べ2,908人 (6) 新規ダウンロード者数：1,076人 (7) 相談室：9回 (8) 参加者数：延べ138人
② 健康づくり啓発事業【新規】 (1) 「健康づくり条例」のスタートアップ及びセブン&アイ・ホールディングスとの包括連携協定に基づく官民連携イベントの実施 (2) 「健康づくり条例」施行に係る市民周知・広報活動の推進	② (1) 7月29日（金）開催 講演会参加者：208名 (2) 広報紙（8月）、ホームページ掲載 ツイッター投稿
③ 市民健康づくり計画見直し、新規計画策定事業【新規】 (1) 市民健康づくりアンケートの実施	③ (1) 9月実施 回答者：19歳以上市民 1,234人 市内中高生 949人、母親 409人
④ 糖尿病等生活習慣病予防の推進 (1) プログラムに基づいた保健指導の実施 (2) 対象者に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等） (3) 「第2次上田市食育推進計画」の推進と進捗管理	④ (1) 保健指導実施者数：268人 (2) 受診勧奨者数：888人 (3) 庁内連携会議：1回
⑤ 検（健）診の受診率向上強化	⑤ 62医療機関に受診勧奨協力依頼を実施
⑥ こころの健康づくりの推進 (1) 「自殺対策連携会議」による進行管理 (2) ゲートキーパー研修の実施 (3) こころの健康づくり講座実施	⑥ (1) 6月21日開催 (2) 修了者 21人、フォロー研修受講者 64人 (3) 10/28、11/11 2回開催

重点目標 幼児教育・保育のニーズに応える子育て支援の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	
	期限・数値目標等
① 公立保育園業務の見直しと保育士の資質向上 (1) ICTシステムの活用も含めた業務効率化の検討 (2) 保育園の運営・保育指導体制の強化 (3) 支援が必要な児童に対応する保育士の資質向上	① (1) 課題の洗い出し、効率化の検討 (2) 保育課による指導の実施（通年） (3) 保育士を対象とした研修会実施
② 上田市保育施設整備計画等に基づく保育施設の整備 (1) さなだ保育園長寿命化改修工事 (2) 保育施設等の再配置に向けた調査・研究	② (1) 改修工事完了（年度内） (2) 再配置計画案に基づく調整・検討
③ 保育の受入体制の充実 (1) 私立日向幼稚園認定こども園化施設整備事業への支援 (2) 3歳未満児の保育の受け皿拡大の検討	③ (1) 補助金交付等による支援・事業完了（年度内） (2) 民間小規模保育所新設の検討（年度内）
④ 保育人材の確保 (1) 保育士養成校に通う学生の保育所への就職促進 (2) 再就職希望者への支援 (3) 多様な人材の確保	④ (1) 職場説明会、ガイダンス等への参加（通年） (2) 相談会、保育の職場体験会を各2回開催 (3) 看護師・事務職の採用
⑤ 保育現場の安全確保と質の高い幼児教育・保育の推進 (1) 通園バスの安全対策強化 (2) 公立園の安全対策の見直し (3) 不適切保育の未然防止 (4) 信州型自然保育認定の認定園拡大	⑤ (1) 安全対策プザーの設置（6月まで） (2) 見直しの実施（年度内） (3) 対応手順の周知・運用（通年） (4) 1園認定（年度内）

【令和4年度重点目標】

重点目標	子どもを産み、育てる喜びが実感できるまちづくりの推進	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		
	達成状況・達成度	
4	① 第2次上田市子ども・子育て支援事業計画の進行管理 (1) 子ども・子育て会議委員の選定、会議開催 (2) 計画の進行管理 (3) 中間年における計画の見直し	① (1) R4.5月(書面会議)、7/28、11/7、2/8会議で委員委嘱等実施 (2) 7/28、11/7、2/8会議で進捗報告等実施 (3) 11/7、2/8会議、3/28見直し計画公表
	② 地域における子育て支援の充実 (1) 子育てサポーターの活動支援と養成講座の開催 (2) 地域で活躍している子育て支援団体との連携	② (1) 子育てサポーター活動回数：194回 (2) R4.10.16 第17回わくわくファミリーフェスタ実施
	③ 子育て世帯包括支援センターの機能充実 (1) 母子保健コーディネーターと子育て支援コーディネーターの連携強化 (2) 地域の関係機関との連携、協働の体制づくり (3) こども家庭センター設置の検討	③ (1) 連携会議 月1回 (2) 各所巡回 月1回 (3) 厚労省説明会(8/29)、庁内関係課協議(9/20)
	④ 子育て支援情報発信の充実 (1) 子育て応援サイト「うえだ家族」への子育て情報の提供 (2) 子育て情報内容充実	④ (1) 行政情報：305件、イベント情報：912件 (2) 子育て応援ハンドブック発行、メール配信月1回実施
	⑤ 妊娠出産包括支援事業の充実 (1) 妊娠届受理からの医療機関等との連携および妊産婦支援 (2) 産後ケア事業等による産婦支援の充実 (3) 多胎妊婦健康診査支援事業の充実(妊婦健診追加受診の補助)	⑤ (1) 連絡便返書36件、発信8件、電話等での連絡延べ212件 (2) 申請者：55人 (3) 妊婦届出時に案内

【令和5年度重点目標】

重点目標	医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		
	期限・数値目標等	
4	① 医療費適正化の取組(保険者努力支援制度評価項目) (1) 特定健診等実施率向上の取り組み (2) 第三者賠償請求の取組推進 (3) 後発医薬品の利用促進	① (1) 実施率 40.0% (2) 被害届受理日までの平均日数 120日 (3) 後発医薬品使用割合 85%
	② 国保財政の健全な運営 (1) 応益割保険料(医療分)の検討	② (1) 国保運営協議会への諮問、答申(改定の場合3月議会へ条例改正提案)
	③ 収納率の向上と国保資格適用の適正化の推進(国保：(1)(3)保険者努力支援制度評価項目) (1) 収納率の向上 (2) オンライン資格確認等システムを活用した国保脱退勧奨の実施 (3) オンライン資格確認等の実施に伴うマイナンバーカード取得推進	③ (1) 現年度分収納率 95.4% (2) 脱退勧奨通知の送付 (3) マイナンバーカードの取得勧奨文書の送付
	④ 健康寿命の延伸と医療費の適正化(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施) (1) 事業全体の協議、関係部署との調整・連携 (2) フレイル予防及び健康増進 ア 高齢者に対する個別支援 イ 通いの場等への積極的関与	④ (1) 庁内関係部署との連携会議、関係団体との連携・情報共有 (2) ア 保健指導等実施人数：750人 イ 地域サロン・地域リハ等へ実施実施団体数：41団体 参加人数：1,300人

重点目標 幼児教育・保育のニーズに応える子育て支援の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）		
	達成状況・達成度	
5	① 公立保育園のICTツール導入 (1) 先行導入園(3園)の検証、効果的な本導入に向けた検討・研修 (2) 効果的な本導入に向けた職員研修 (3) ICT化ツールの全園運用開始	① (1) 導入に向けた検討実施 (2) 職員向けの研修を実施(11月)園長、保育主任、事務職員を対象に7回実施(70名参加) (3) 公立全30園で運用開始(12月)
	② 上田市保育施設整備計画等に基づく保育施設の整備 (1) 武石保育園長寿命化改修工事 (2) 保育施設等の再配置に向けた調査・研究	② (1) 改修工事完了(1月) (2) 保育施設再配置素案作成
	③ 質の高い幼児教育・保育の推進と受入体制の充実 (1) 民間運営の小規模保育事業所新設に向けた支援 (2) 私立日向幼稚園認定こども園施設整備事業への支援 (3) 信州型自然保育認定の認定園拡大 (4) 発達支援体制の強化・支援者の資質向上	③ (1) 補助金交付等支援による1園開園(12月) (2) 補助金交付等による支援、事業着工(2月) (3) 西内保育園の信州型自然保育認定 (4) 相談事業133回 巡回指導110回 公開保育1回・保育学習会3回 児童発達支援センター研修7回・保育所職員研修2回
	④ 一時預かり利用者の負担軽減による子育て支援 (1) 一時預かり利用者への補助支援	④ (1) 支援を開始(8月)、制度周知
	⑤ 保育人材の確保 (1) 保育士養成校に通う学生の保育所への就職促進 (2) 再就職希望者への支援 (3) 多様な人材の確保	⑤ (1) 合同説明会参加(1回・4名) 就職ガイダンスに参加(学生25名) (2) 職場説明会開催(2回・7名) 保育体験会開催(2回・8名) (3) 看護師3名、事務補助員7名採用

重点目標 多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援の充実

具体的な重点取組項目（箇条書き）		
	期限・数値目標等	
5	① 切れ目ない発達支援事業の基盤づくり (1) 人員体制の強化に向けての検討 ア 発達支援に関する相談窓口の一本化 イ 一貫した支援の継続につながる体制整備の検討 ウ 支援者が孤立することなく連携、相談できる体制の充実 (2) 発達相談、支援の充実 ア 保育園、幼稚園巡回相談の強化 イ 支援ノート「つなぐ」を活用した支援の継続 ウ 4か月健診における作業療法士の個別相談の開催、継続相談の充実 エ 作業療法士による「感覚を育てる運動教室」開催 オ ペアレントトレーニングの開催 カ 保護者向けグループ相談会の開催 (3) 発達支援に関する支援者の資質向上【定住自立圏取組項目】 ア 上田地域定住自立圏検討会議の開催 イ 発達障害に関する正しい理解と適切な対応について市民向け講演会、支援者向け学習会を定住自立圏構成市町村と共同開催	① (1) ア 保育園、幼稚園の発達支援を発達相談センターに集約(R5年度) 教育相談所との一体化事務所(R6年度) イ 専門職の育成確保に向け適正な任用のための検討を進める。 ウ スーパーバイザーによる事例学習会 1回/月 (2) ア 保育園150回、幼稚園20回 専門職による巡回発達相談50回 イ 新規発行部数 30冊 相談場面や支援会議で活用を促す ウ 4か月健診開催時 エ 幼児 3コース オ 3コース(1コース当たり10回/隔週) カ 2回 (3) ア 検討会 年2回 イ 市民向け講演会 年1回 支援者向け学習会 年1回
	② 児童虐待防止とヤングケアラーの早期発見、適切な対応のための体制づくり (1) 子ども家庭総合支援拠点の円滑な運営に向けた機能の充実及び関係機関や地域との連携強化を図る。 ア 児童虐待のほかヤングケアラー等の新たな課題に対応するための支援等の実施 イ 要保護児童対策地域協議会の開催による関係機関との連携強化 (2) 児童虐待の発生を未然に防止するため、啓発活動、講演会の開催	② (1) ア 訪問型支援事業等の実施 イ 要保護児童対策地域協議会代表者会議 年1回 実務者会議 年3回 個別支援会議 随時開催 (2) 講演会 年1回 広報うえだ等による啓発
	③ ひとり親家庭への支援の充実 (1) 生活の安定を図るため、就職に有利な資格取得等に対する経済的支援を行う。 (2) 子どもの生活・学習支援事業の実施	③ (1) 高等職業訓練等各種制度の利用者増 (2) 小学5・6年生各15人

重点目標 医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営

具体的な重点取組項目（箇条書き）		
	達成状況・達成度	
6	① 医療費適正化の取組(保険者努力支援制度評価項目) (1) 特定健診等実施率向上の取り組み (2) 第三者賠償請求の取組推進 (3) 後発医薬品の利用促進	① (1) 実施率：38.9% (2) 被害届受理日までの平均日数：230日(R5.3月末) (3) 後発医薬品使用割合：84.2%(R5.3月末)
	② 国保財政の健全な運営 (1) 応益割保険料(医療分)の検討	② (1) 国保運営協議会へR5.1.19諮問、1.27答申、税率据置
	③ 収納率の向上と国保資格適用の適正化の推進(国保：(1)(3)保険者努力支援制度評価項目) (1) 収納率の向上 (2) オンライン資格確認等システムを活用した国保加入勧奨の実施 (3) オンライン資格確認等の実施に伴うマイナンバーカード取得推進	③ (1) 現年度分収納率：87.43%(R5.3月末) (2) 3月2日 対象者に加入勧奨通知を送付 (3) 8月1日保険証一斉更新時にリフレットを同封
	④ 健康寿命の延伸と医療費の適正化(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施) (1) 事業全体の協議、関係部署との調整・連携 (2) フレイル予防及び健康増進 ア 高齢者に対する個別支援 イ 通いの場等への積極的関与	④ (1) 随時、関係部署と検討会を開催 上田市医師会、小県医師会と情報共有を行った。 (2) ア 保健指導等実施人数：909人 イ 実施団体数：27団体 参加人数：747人

重点目標 地域周産期医療体制と女性のライフサイクルにあった支援の充実

具体的な重点取組項目（箇条書き）		
	期限・数値目標等	
6	① 安全で安心な周産期医療提供体制の確保 (1) 信州上田医療センター病棟改修等に対する支援 (2) 信州上田医療センター周産期医療運営に対する支援 (3) 医療機能の再編・集約化にかかる各種手続き (4) 将来の周産期医療等に対する支援検討	① (1) 医療センターに対し、適正な補助金交付処理の実施 (2) 医療センターに対し、適正な負担金交付処理の実施 (3) 病床削減による給付金申請及び給付金受領 (4) あり方研究会及び関係市町村等との協議実施
	② 女性のライフサイクルにあった支援の充実 (1) 子宮がん検診や特定健診の積極的な実施 (2) ホルモン製剤による治療などの幅広い年代の女性に対応したヘルスケア診療の充実 (3) 庁内関係課との連携による出前講座の充実 (4) 「命の学級」の内容及び対象者の拡充	② (1) 子宮がん検診 850件(前年比106%) 特定健診 20件(前年比125%) (2) LEP療法 380例(前年比101%) (3) 小中学校以外への出前講座 3回(前年比100%) (4) 中学生向け「命の学級」開催 15回(前年比100%)

【令和4年度重点目標】

重点目標	多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援の充実	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
7	① 発達支援体制の強化	①
	(1) 発達支援事業の啓発と強化	(1)
	ア 「うえだ発達支援事業」パンフレットの配布、出前講座の開催にて周知を図る	ア 要望のある部署へ追加補充300部
	イ 発達障害に関する正しい理解と適切な対応について市民向け講演会を定住自立圏構成市町村と共同開催	イ 10/15(土)市民向け講座106人参加
	(2) 発達相談、支援の充実	(2)
	ア 巡回相談（幼稚園）	ア 8園に実施中：17回
	イ 発達支援に関する研究会の開催	イ 作業療法士による研修会3回実施
ウ 支援ノート「つなぐ」を活用し成長段階に応じた支援を継続する。	ウ 5月号広報掲載	
エ 「感覚を育てる教室」の開催	エ 幼児3コース 全7回 (1コ-ス4組、2コ-ス4組、3コ-ス5組)	
オ 4か月健診における作業療法士の個別相談	オ 4か月健診時の個別相談 100回 (3/14現在)	
カ ペアレントトレーニングの開催	カ 2コース (1コ-ス 全8回、実5人 2コ-ス目 全10回、実5人)	
(3) 発達支援に関する支援者の資質向上【定住自立圏取組項目】	(3)	
ア 上田地域定住自立圏検討会議の開催	ア 発達相談センター：検討会2回	
イ 保育士支援事業	イ 支援者向けペアトレ 1コース(実6人)	
② 虐待予防と早期発見、適切な対応のための体制づくり	②	
(1) 子ども家庭総合支援拠点の円滑な運営に向けた機能の充実及び関係機関や地域との連携強化を図る。	(1)	
ア 児童虐待のほかヤングケアラー等の新たな課題に対応するための支援策の検討	ア ヤングケアラー講演会の開催 訪問型支援事業の新設	
イ 要保護児童対策地域協議会の開催による関係機関との連携強化	イ 代表者会議1回、実務者会議3回 個別支援会議随時開催(732回)	
(2) 児童虐待の発生を未然に防止するため、啓発活動、講演会の開催	(2) オンライン講演会実施 関係団体との啓発活動の実施	
③ ひとり親家庭への支援の充実	③	
(1) 生活の安定を図るため、就職に有利な資格取得等に対する経済的支援を行う。	(1) 高等職業訓練給付事業利用者：17人	
(2) 子どもの生活・学習支援事業の実施	(2) 小学5年生：11人 小学6年生：11人 9月から毎週1回開催	

【令和5年度重点目標】

重点目標	救急医療体制の整備と医師・看護師の確保による地域医療体制の充実	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
7	① これまでの事業の検証、改善策の検討及び事業の推進	①
	(1) 上田市看護師確保修学資金貸与制度の実施	(1) 制度周知、申請者への貸与実施
	(2) 鹿教湯病院再編に伴う財政支援の準備・検討	(2) 鹿教湯病院再編に伴う財政支援の検討(当初予算要求時まで)
	② 安定的な医師確保体制の整備と充実	②
	(1) 上田市医師確保修学資金等貸与制度の見直し	(1) 制度見直しの検討と、広域連合の新設課と連携した、新たな医師確保策の検討(当初予算要求時まで)
	(2) 信州上田医療センターが実施する医師確保事業への支援	(2) 広域連合と連携し、信州上田医療センターの研修医を含む常勤医師数の増加(通年)
	③ 救急医療体制の確保	③
(1) 内科・小児科初期救急センターの運営と周知	(1) 小児科担当医の確保。次年度以降の安定した運営へ向けた検討(通年)	
(2) 深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備	(2) 初期救急医療体制の確保に対する支援事業を実施(通年)	
(3) 病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援	(3) 二次救急医療体制の確保に対する財政支援により、1年365日の受入れ体制の確保、充実を図る(通年)	
④ 地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報、啓発し、適切な受診を推奨	④	
(1) 広域連合ふるさと基金を活用した地域医療対策事業の実施及び事業内容等の検証	(1) 年1回以上の広報紙等による周知 地域医療政策総合調整参事による講演会等の実施	
(2) 事業効果の検証のまとめと令和6年度以降実施する事業内容等の検討・決定(通年)	(2) 事業効果の検証のまとめと令和6年度以降実施する事業内容等の検討・決定(通年)	

重点目標 救急医療体制の整備と医師の確保による地域医療体制の充実

重点目標	救急医療体制の整備と医師の確保による地域医療体制の充実	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
8	① これまでの事業の検証、改善策の検討及び事業の推進	①
	(1) 看護師確保のための施策の実施	(1) 上田市看護師確保修学資金貸与制度を創設し、令和5年度から実施
	(2) 鹿教湯病院再編に伴う財政支援時期の検討	(2) 関係課と協議し方向性を協議
	② 安定的な医師確保体制の整備と充実	②
	(1) 上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施及び制度の見直し	(1) 既貸与者6人への貸与継続。制度の課題を整理
	(2) 信州上田医療センターが実施する医師確保事業への支援	(2) 医師数：85人(令和5年3月末現在)
	③ 救急医療体制の確保	③
(1) 内科・小児科初期救急センターの運営と周知	(1) 年間359日開所、休診日の内、年末年始2日間臨時開設	
(2) 深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備	(2) 病院群輪番制病院での受入体制を確保	
(3) 病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援	(3) 広域連合ふるさと基金の活用により財政支援を実施	
④ 地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨	④	
(1) 広域連合ふるさと基金を活用した地域医療対策事業の実施及び事業の検証	(1) 広報うえだ(8月)、行政チャンネル(11月)で市民に周知	
(2) 令和4年度地域医療対策事業の実施 令和6年度以降の事業内容の検討、構成市町村との連携による見直し	(2) 令和4年度地域医療対策事業の実施 令和6年度以降の事業内容の検討、構成市町村との連携による見直し	

重点目標 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う適切な対応

重点目標	新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う適切な対応	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
8	① 新型コロナワクチン接種の円滑な遂行	①
	(1) 接種対象者が速やかに接種できる環境の整備	(1) 十分な個別接種機関、集団接種会場の確保
	(2) 接種対象者が安心して接種できる体制の確保	(2) 集団接種会場での適切な人材の確保
	(3) 接種に対する正しい情報の提供	(3) 国・県等の情報の適切な提供
	② 国・県の方針に基づく適切な対応	②
	(1) 5類移行後の医療提供体制確保の連携・支援	(1) 県・保健所等と必要に応じた連携
	(2) 広報紙・市メール・SNS等での適時情報発信	(2) 随時